

## ヒメスイバ (姫酸い葉)

名前の意味：スイバに似て全体が小さいもの。姫は姿が優しいものにつける。酸っぱい葉という名の通り、葉をかじると酸っぱい。

分類：双子葉類、タデ科、ギシギシ属

(タデ科の栽培植物：ソバ)

好きな場所：日当たりのよい湿った場所

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：ユーラシア

特徴：矢尻形の葉、赤っぽい色の丸い花がたくさん付く

種子の運ばれかた：そのまま落ちる

花弁の数：花弁はない

花の時期：4—6月

食べ方：食べられるけれどもおいしくない

見分け方：ヒメスイバの葉は長さ7cm ぐらいまでだが、スイバは、10cm に達する。

見つけやすさ ★★★

見分けやすさ ★★★

総合難易度 ★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)